

105-195

問題文

本症例に関する病態及び薬物療法に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 鼻漏は膿性鼻漏に移行することが多い。
2. くしゃみ、鼻汁、鼻閉はI型アレルギー反応による。
3. くしゃみの症状がひどくなる場合は、セラトロダスト錠を追加する。
4. 鼻づまりの症状がひどくなる場合は、アドレナリン α 受容体遮断作用を有する点鼻薬を追加する。
5. エピナスチン塩酸塩錠のかわりにフェキソフェナジン塩酸塩錠を使用することも可能である。

解答

2, 5

解説

ハウスダストアレルギーが疑われる症例です。

選択肢 1 ですが

アレルギーでは、水様性鼻漏が多いです。いわゆるサラサラした透明の鼻水です。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 は妥当な記述です。

選択肢 3 ですが

セラトロダストは気管支喘息治療薬です。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 ですが

α 「刺激」です。遮断ではありません。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 は妥当な記述です。

以上より、正解は 2,5 です。